

## Windows 監視用 NRPE プロファイルとサービスの使い方

aeMonitor には Windows システム監視のためのホストプロファイル `host-profile-nrpe-windows` が登録されています。これは Windows システムを監視するために NRPE を利用するサービスをまとめ（サービスプロファイル： `nrpe-windows`）、一括して Windows 監視を登録できるようにしたものです。

本資料では、この NRPE プロファイル（とそれに含まれている NRPE の監視サービス/プラグイン）を活用するための方法について説明します。

### 1. NRPE プロファイルと含まれるサービス

下記のプロファイルとサービスは NRPE の仕組みを使用して Windows の状況を監視します。これらを使って NRPE 監視を行なうには、本書で説明する NRPE 監視設定が必要です。

ホストプロファイル : `host-profile-nrpe-windows`

サービスプロファイル : `nrpe-windows`

サービス : `nrpe_win_disk`

`nrpe_win_cpu`

`nrpe_win_mem`

`nrpe_win_service`

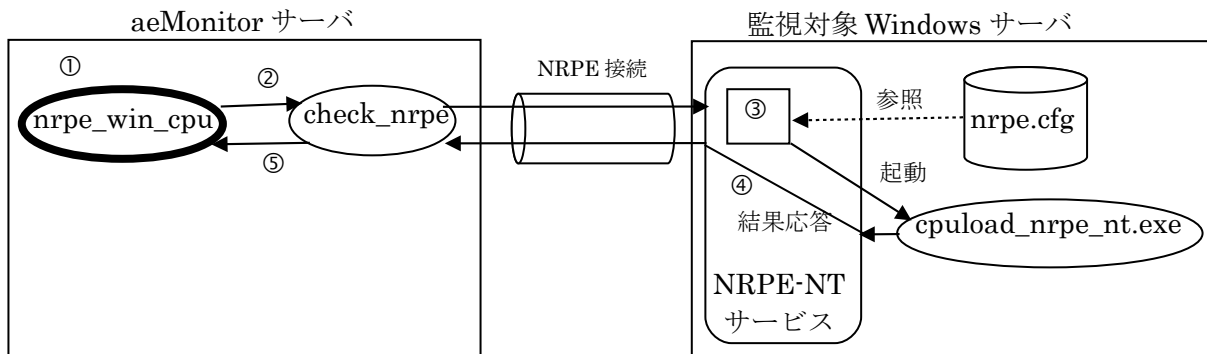
### 2. NRPE 監視の仕組み

上記のサービスは Nagios Remote Plugin Executor for Windows(NRPE-NT)によるリモートコマンド実行の仕組みを利用した監視方式を用いています。NRPE は元々リモートの UNIX/LINUX 上で Nagios 監視プラグインを動かして内部監視を行なうために開発されたものですが、その仕組みを Windows（NT アーキテクチャ）に対応させた NRPE-NT が開発されました（同様な機能の Winrpe という OSS もあります）。aeMonitor（Nagios）側は相手が Windows（NRPE-NT）でも UNIX/LINUX（NRPE）でもまったく同じ仕組みで監視を行ないます。

以下に `nrpe_win_cpu` サービスを例として、リモート Windows システムの CPU 使用率を調べる仕組みを説明します：

- 1 aeMonitor/Nagios によって `nrpe_win_cpu` サービスが実行されるとサービスに関係付けられたプラグイン `check_nrpe` が起動される
- 2 `check_nrpe` は引数で指定された監視対象サーバの NRPE ポート（5666）で待っている NRPE-NT サービスに接続し、NRPE 実行コマンドとパラメータが渡ります。
- 3 NRPE-NT サービスは `nrpe.cfg` ファイルを参照して、受け取ったコマンドとパラメータを解釈し、Windows 上のプラグイン `cpuload_nrpe_nt.exe` を実行する。

- 4 NRPE-NT はコマンド結果応答を `check_nrpe` プラグインに返す。
- 5 `check_nrpe` は応答結果を `nrpe_win_cpu` サービスに返す。



### 3. NRPE 監視設定について

aeMonitor サーバには予め NRPE サービス／プラグインが導入されており、改めて導入や登録をする必要はありません。監視対象となる各 Windows システム（サーバなど）において、下記の設定を行なってください。

#### 1) NRPE-NT とプラグインの導入

各監視対象 Windows システム上で、以下を実施します。

Step1 : NRPE-NT と Basic NRPE\_NT Plugins をダウンロードします。

（2 台目以降はファイルコピーでもかまいません。）

NRPE-NT のダウンロード URL:

[http://exchange.nagios.org/directory/Addons/Monitoring-Agents/NRPE\\_NT/details](http://exchange.nagios.org/directory/Addons/Monitoring-Agents/NRPE_NT/details)

Basic NRPE\_NT Plugins のダウンロード URL :

[http://exchange.nagios.org/directory/Plugins/Operating-Systems/Windows-NRPE/Basic-NRPE\\_NT-Plugins/details](http://exchange.nagios.org/directory/Plugins/Operating-Systems/Windows-NRPE/Basic-NRPE_NT-Plugins/details)

Step2: C:\ にフォルダ `nrpe_nt` を作成します。

Step3: ダウンロードした NRPE-NT ファイル `nrpe_nt.0.8b-bin.zip` を解凍し、  
C:\nrpe\_nt の下に保存します。

Step4 : コマンドプロンプトを起動し、下記のコマンドでフォルダを移動します。

```
cd C:\nrpe_nt\bin
```

Step5: NRPE-NT をサービスとしてインストールするコマンドを投入します。

```
NRPE_NT.exe -i
```

ー→ 下記のメッセージが表示されれば、インストール成功です。

```
NRPE_NT Service sucessfully installed!
```

#### 【参考】

NRPE-NT はかなり古くからある安定したソフトウェアですが、正式には Windows2008 以降について稼働の確認はされておられません。Windows2013 や Windows 8 については、同様機能の Winrpe がサポート宣言しています。

Winrpe のダウンロード URL :

<https://www.itefix.no/i2/winrpe>

## 2) nrpe.cfg ファイルの編集

上記 1) で導入した NRPE-NT のインストールディレクトリの nrpe.cfg ファイルを下記のように編集します： ( )

```
#---有効な設定項目は以下の通り：他はコメントアウトしてください-----#
#
server_port=5666
#
allowed_hosts=<aeMonitor サーバのアドレス/FQDN>
#
dont_blame_nrpe=1
#
debug=0
#
command_timeout=30
#
command[get_disk]=C:\NRPE_NT\nrpe_nt_plugins\bin\diskspace_nrpe_nt.exe "$ARG1$" "$ARG2$" "$ARG3$"
command[get_cpu]=C:\NRPE_NT\nrpe_nt_plugins\bin\cpuload_nrpe_nt.exe "$ARG1$" "$ARG2$"
command[get_mem]=C:\NRPE_NT\nrpe_nt_plugins\bin\memload_nrpe_nt.exe "$ARG1$" "$ARG2$"
command[get_service]=C:\NRPE_NT\nrpe_nt_plugins\bin\service_nrpe_nt.exe "$ARG1$"
#-----#
```

allowed\_hosts= の行の <aeMonitor サーバのアドレス/FQDN> 部分は、置き換える必要があります。  
カンマで区切って複数のアドレスを指定できます。

3) プラグインのインストール

上記 1) でダウンロードした `nrpe_nt_plugins.zip` を解凍し下記ディレクトリに保存します：

`C:\NRPE_NT\nrpe_nt_plugins\`

4) NRPE-NT サービス開始

コントロールパネルの管理ツールから「サービス」を選び、下記のサービスを開始します。

サービス名：NRPE-NT

表示名： Nagios Remote Plugin Executor for NT/W2K

あるいは、システムのリブートをする と NRPE-NT サービスが自動的に開始します。